

# 情報

# TERUOKA

光岡公民館だより第170号



謹賀新年



国内では、昨年の三、四月～十月にかけて第一波～五波に及ぶまで感染拡大が続き、緊急事態宣言の発出や解除が繰り返され、私達の日常生活や公民館活動、自治会活動は大きな影響を受け続けております。

さて、世界規模で猛威を振るつてゐる「新型コロナウィルス感染症」はピークを越えたように見えましたが、ロシア、ヨーロッパ、韓国等を中心に「ブレークスルー」による感染者数が再び増大していきます。

それに加えて、今、南アフリカなどで確認された「新変異株オミクロン」が、これから更に世界規模で爆発的に増えるのではないかと危惧されています。（令和三年十一月中旬）

田田地区に於いては、過去の度重なる豪雨災害が頭をよぎり、心配してしましが、災害も無く、胸をなでおろした所で「やれこます。

中でも七月三日の「熱海市伊豆山地区での大規模土砂災害」では多くの方が犠牲となり、ここに、被害に遭われました方々に心から哀悼とお見舞いを申し上げる次第でござります。

は、令和三年七月から八月にかけての記録的な「長雨」、「大雨」で大きな災害となりました。

先ず、毎年の様に躍つ跳びでの新年で  
校区の皆様方におかれましては、お健や  
かに新年をお迎えのこととお喜び申し上  
げます。

## 年のご挨拶 社会の変化に対応できる地域活動を

光岡公民館運営委員会 会長 高瀬 博

これからインフルエンザとの同時流行、第六波にならない事を願っております。

光岡公民館では、(一)の「学習教室」については、ほぼ全教室で基本的な感染対策をしながら活動を開しております。

開けてあります

しかしながら、全体的、かつ主要な活動につきましては、残念ながら殆ど活動ができませんでした。

「これから社会に」新規「ロボット」に象徴される未知のウィルスとの闘い、地球温暖化、デジタル化と超高速通信網の更なる進歩、オンライン、リモート、A.I.、自動運転、ロボット、SDGs、人口減少社会等、私達の居住環境は飛躍的な進歩と変化し続けて行く事でしょう。

「」の様な情勢を踏まえて、今後の地域「」、「」、「」の核となる「公民館活動」、「自治会活動」は、目まぐるしい社会の変化に対応出来るか否かが今、問われてこうむると思ふねす。

難しい課題ではあります、公民館運動委員会を中心となり、小学校、育友会、自治会、行政とも連携して、知恵を出し合って、楽しく住みやすい街づくりの活動を推進して行かたいと願っています。

今後とも、校区の皆様方の「理解」と「協力を賜り、ます様お願いいたします。

新しい年が希望に満ちた年でありますように、心より祈  
念申し上げ、新年の「」挨拶にかえさせていただきます

# 全戸配布

令和4年1月1日発行

発行者：光岡公民館

館長：加納幸憲 主事：石田一彦

TEI 23-8984 FAX 23-7910

